

■ 戸建て木造住宅の維持管理に関する調査結果(抜粋)

本指針(案)については、各種の既存の資料を参考にするとともに、今回新たに各種調査を行い、これらから得られた知見等を基に記述を行った。

これら調査の状況については下記(1)～(4)のとおりであるが、次ページ以降においては、これらのうち、(2)の一般の工務店等を対象とした調査及び、(3)のトップランナー調査の概要を紹介する。

.....

[参考]

維持管理指針(案)の検討・作成にあたって、平成21年度に実施した調査一覧

(1) 既往文献調査

木造建築物・住宅の維持管理に関する既往の文献・資料等を収集し概要を把握。今回の指針(案)取りまとめの参考資料とした。

(2) つくり手調査(→資料2-5-2(1)・(2))

一般の工務店を対象とした「維持管理」への取り組み状況を把握するためのアンケート調査。(社)全国中小建築工事業団体連合会・工務店サポートセンターの協力を得、当センターの会員企業を対象に本年11月に郵送にて実施。

調査票送付1,020社。回答数433社、回答率42.5%。

これらの回答者から、さらに詳細なヒアリングを行う対象を選定した。

(3) トップランナー調査(→資料2-5-2(1))

戸建て木造住宅の長寿命化を目指した維持管理に関する先進事例を「長期優良住宅先導的モデル事業」の提案採択者等から選び出し、ヒアリング等の調査を行った。

(4) 長寿命地域住宅等調査

様々な特性の地域で実際に長期にわたって使われ続けている伝統木造住宅、長寿命を志向した在来工法住宅等の実例を実地に調査した。(つくり手、住まい手からのヒアリングを含む。)